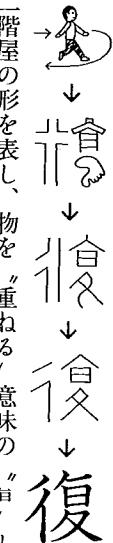


# 復

五年 筆順 12  
オノ フク 行 往復 復復  
画数  
クシ

成り立ち



二階屋の形を表し、物を“重ねる”意味の“旨”と、足の形を表した“夕”と、道の形を表した“彳”とを組み合わせて作った字です。

「重ねて道を行く」という意味を表した字です。「行った道を、ふたたび通つて“かる”」ことを表した字です。

例 往復、復路、復旧、回復。

「ふたたびする（ふたたび）」という意味にも使います。

また、「おかえし」の意味にも使います。例 報復、復讐。

# 複

五年 筆順 14  
画数  
オノ フク 行 往復 復復  
クシ

成り立ち



二階屋の形を表し、物を“重ねる”意味の“旨”と、足の形を表した“夕”と、衣服の形を表した“衣”とを組み合わせて作った字です。

「二枚の布を重ねて作った着物」（布を合わせるので“合わせ”）と“複”（複数）と書きました）のことを表した字です。

今は、物の“重なる”こと、また“重ねる”という意味に使われます。例 重複、複合、複雑。

「二つ以上」「たくさん」という意味にも使います。例 複数、複眼、複写、複製。

△ ぼくの家から学校まで往復十分かかります。片道五分と、とても近いので、遅刻したことがあります。回復するのに長いことかかったことがあります。回復するは、大そう心配したそうです。

△ ばくは算数が苦手です。計算問題なら、まだいいのですが、複雑な応用問題になると、よくわかりません。おにいさんは、よく読んで式を立てればいいと言いますが、それがうまくできないのです。

△ わたしはルノアールの人物像の複製を持つています。複製でも、とてもきれいな絵です。いつか、お金をためて本物が買えればいいな、と思います。

△ 往復（行つて帰ること。行きと帰り）

△ 復路（帰り道）

△ 復旧（元の状態にもどること。「復旧作業をいそいだので、一、二三日で元のようになつた」などというふうにつかいります。）

△ 復活（悪い状態から、元の良い状態にもどること。とくに、病気がなおつて、元の健康な体になることを言います。）

△ 復習（習つたことを、また習いかえすこと。）

△ 復活（廃止されたことを、またやるようになること。また、死んだ人が、生きかえることをも言います。）

△ 報復（かえし）  
(しかえし)

△ 復讐（かえし）  
(しかえし)

## 使い方

△ ぼくは算数が苦手です。計算問題なら、まだいいのですが、複雑な応用問題になると、よくわかりません。

おにいさんは、よく読んで式を立てればいいと言いますが、それがうまくできないのです。

△ わたしはルノアールの人物像の複製を持っています。複製でも、とてもきれいな絵です。いつか、お金をためて本物が買えればいいな、と思います。

△ 複合（二つ以上のものが重なること。「複合語」といえば、二つ以上の単語が結びついて、一つ言葉になったもののことです。例「旅行日記」）

△ 複雑（物事が重なつて、いろいろでいて、わかりにくいこと。）

△ 複眼（小さな目がたくさん集まつてできている目）

△ 複写（同じものを一枚以上いっしょに写すこと。また、一度写したものを見直すこと。）

△ 複製（美術品などを、そつくりに作ったもの）

使い方

八二二

五年

八二三